

# 委員会の内容とスケジュール

## ○第1回（平成29年7月12日（水）開催済）

①委員会趣旨説明

②事例報告

- ・諸外国の適応策の取り組み事例
- ・d4PDFの説明

③検討事項

- ・モデル流域における気候変動予測による降雨量の算定方法  
温暖化シナリオの選定、ダウンスケール手法（計算領域、計算期間、計算格子サイズ、メンバー数等）

## ○第2回（平成29年11月21日（火）開催）

→ ①ダウンスケーリング実施報告

②検討事項

- ・将来降雨における降雨の分析  
バイアス補正、統計値の中から降雨量を選択する手法
- ・流出計算手法および計算結果  
計算モデルと定数設定、主要洪水の再現確認、流出計算結果
- ・洪水リスク分析の考え方  
リスクの考え方、リスク分析対象の選択・検討

## ○第3回～（冬頃開催予定）

→ ①影響予測結果とりまとめ

- ・モデル流域における降雨の変化
- ・洪水流出量の変化
- ・リスクの変化